

1年生学年だよ！

平成 27 (2015)年9月19日 (土)

第31号

吹田市立第二中学校第一学年

思いを語る 受け止める 思いがつかない つみあがる

昨日のリハでは、1年生の仲間たちが、これまでの取り組みと本番に向けての思いを語りました。3月までは小学生だったみなさんは、100人の前で堂々と「自分の思い」を語る力をつけつつあります。

前で話す生徒が、「一方的に話す」のではなく、「一人ひとりに語りかけている」とこと。そして、その「仲間の思いを受け止める」空気があるということは、本当に素敵なことですね。

昨日の1時間目、2組の徳永さん、1組の吉田琴美さんの司会でリハに臨みました。この2人もPLとして人権文化祭の取り組みを牽引（けんいん）してくれたメンバーです。「緊張感を持ってリハーサルに挑もう」司会者の口からもそんなことばが飛び出しました。リハに先立ち、パートリーダーより、3組の村井さんが思いを語ってくれました。

変化しているみんな

パートリーダー代表 3組 Mさん

「いよいよ明日は、本番です。みんなは文化祭のために、いろんなことに頑張ってきました。キャストの人は、役に入り込むために何度も練習して、小道具や大道具や衣装の人はキャストの人が役に入り込めるように色々なものを作って、シンガーズの人は歌でみんなをリードできるように練習してきました。

3組のある人は、音楽の時間、いつもふざけてて歌を歌う時でもちゃんと歌ってくれません。でも、照明の役割をもらって、体育館の舞台の上では一生懸命歌を歌ってくれています。

それから、いつも授業中、アザラシみたいに笑ってる人が、衣装作りのときはキャストの人が気持ちよく演技できるよう、一生懸命衣装を作ってくれています。

あるキャストの人は、先生に何度怒られても演技を続けてくれています。パートリーダーの人は、先生に話をしてもらって、頑張ろうという気持ちになってくれました。

ピアノの3人は、自分の時間を削って、練習してくれています。

それからある先生は、みんなに恐がられるかもしれないのに、キャストの人やみんなに悪いところがあれば、面と向かってしかってくれます。

頑張ってくれている先生や、変化しているみんなを私は見えています。」

学年の仲間や、先生たちの姿をじっと見つめてきた村井さん。言葉をつなぎます。

「その変化に気付いているのは自分の気持ちも変わってきたからだと思います。

今日は、明日一番いい顔をして舞台上に上がれるよう、しっかり緊張感を持ってリハーサルしてもらいたいと思います。

みんなは、文化祭を成功させるために一生懸命頑張ってくれています。一人にミスがあれば、誰かがフォローしてくれて、悩みがあれば、そばにいてくれて…。そんなみんなといられて私はほんとうによかったな、と思います。

今日のリハーサルは緊張感を持って頑張りましょう。」

村井さんのメッセージのあと、一年生みんなからの温かい拍手で、リハーサルがスタートしました！

そしてリハの後、それぞれの部門の代表者からみんなへのメッセージがありました。

同じ舞台でひとつに

衣装係代表 3組 Tさん

「今日は、衣装係が何をしていたのかを知らないと思うので説明したいと思います。

衣装係は、キャストの人たちが着る衣装を作ったり集めたりしていました。ロボットとかモロ（山犬）の頭とかも衣装が作りました。衣装は、見えないところで頑張ってたと思うんですけど、他の部門の人も同じくらい頑張ってたと思います。

なので、それぞれの部門ごとでやってることはばらばらだけど、最終的には同じ舞台に立ってひとつになると思うので、本番、当日、みんなで頑張りましょう。お願いします。」

気持ちを込めて

小道具係代表 2組 Oさん

「小道具部門代表の奥です。舞台の上では小道具はあまり目立たない小ものばかりで、でも、この道具はキャストにゼッタイ使ってもらいたいという思いでみんなで一生懸命気持ちを込めて作りました。明日はいよいよ本番です。みなさん、気を引き締めて頑張りましょう。」

「ありがとう」の気持ち

PL代表 1組 Aくん

「劇がすごい上手やと思っている人もいると思うけど、いろんなところに工夫してやっているからそこにも注目して見てあげてほしいと思います。照明とかも、見えないところで、お客さんとかが舞台に注目しているときに、裏の方でがんばってくれている人たちやから、キャストの人たちも「照明さんが、がんばってくれてるんや」、「ありがとう」という思いでやってほしいと思います。大道具、小道具、は一生懸命大きなもとかを作ってくれて感謝しています。

ピアノと指揮者は、みんなが歌いやすいようにみんなを引っ張ってくれて感謝してます。

今日は最後の練習でしたけど、うまくいったと思っているので明日もこの調子でがんばりましょう。」

真正面から「頑張ろう」と言える空気。

そして、それを受け止める仲間。

これは、この人権文化祭の取り組みの中で、みんなが作ってきた大きな財産です。

本気でやるのはかっこ悪い？

いやいや！

本気でやらな、かっこ悪い！

さて、今日の本番。みなさんはどんな成長を見せてくれるのでしょうか。

さぁ！開演のブザーがなります！

思いっきり楽しんで来い！！

どの部門も、一生懸命頑張れた

シンガーズ代表 2組 Sさん

「シンガーズ代表の末武です。シンガーズは、今までひたすら歌を歌ってきました。「いつでも誰かが」でやる鳴子（なるこ）とトライアングルも最近決まったことやけど、本番に失敗しないために、一生懸命頑張ってきました。シンガーズははっきりいって全然目立たないですけど、それでも、歌のときにみんなを引っ張っていくぞ、という気持ちでやってきました。どの部門も、それぞれ一生懸命頑張ってきたと思うから、その頑張りを無駄にしないためにも明日の本番は頑張りましょう。」

色んな工夫、見てほしい

大道具部門 2組 Kくん

「大道具部門の日下部です。大道具では、主にネコバスとフラップターを作りました。他人もトトロのふすまとか、ラピュタの火柱とか、色々作りました。一生懸命作ったので、よく見てほしいです。フラップターは、キャストが乗るので、キャストが楽に演技ができるように頑張りました。ネコバスはほんものに似ているようにするために色々工夫しました。他にも色々一生懸命頑張ったので…お願ひします！」

キャストが一番目立つように

照明担当 3組 Iくん

「照明は、地味な作業やけど、最初からやりたくて、仕方なかったので、紙（照明希望のエントリーシート）にいっぱい書きました。それでやってみるとすごくおもしろくて…。キャストが頑張ってるから、スポットも頑張ってるキャストが一番目立つように頑張りたいと思います。」

役に成り切る

キャスト部門 3組 Yさん

「キャストの吉田琴音です。私はモロの役を演じてますが、今まで頑張ってきたことは、役に成り切ることです。色々な部門も頑張ってくれたので、キャストも頑張らないといけないという一心で頑張りました。明日の本番頑張りましょう。」

第一学年先生たちより